

## 平成19年新司法試験の出願状況

1 出願者数等	5,401人
(1) 性別構成	
男性	3,786人 (70.1%)
女性	1,615人 (29.9%)
(2) 修了者	1,076人 (19.92%)
(3) 修了見込者	4,325人 (80.08%)
(4) 受験回数	
1回目	4,061人 (75.19%)
2回目	1,197人 (22.16%)
3回目	143人 (2.65%)
(5) 既修・未修別	
既修者・法学部卒	2,568人 (47.55%)
既修者・非法学部卒	317人 (5.87%)
未修者・法学部卒	1,354人 (25.07%)
未修者・非法学部卒	1,162人 (21.51%)
(注) 受験願書に基づく情報	

## 2 選択科目別

倒産法	1,207人 (22.35%)
租税法	280人 (5.18%)
経済法	513人 (9.50%)
知的財産法	890人 (16.48%)
労働法	1,691人 (31.31%)
環境法	311人 (5.76%)
国際関係法 (公法系)	112人 (2.07%)
国際関係法 (私法系)	397人 (7.35%)

## 3 試験地別

札幌市	121人 (2.24%)
仙台市	203人 (3.76%)
東京都	3,013人 (55.79%)
名古屋市	328人 (6.07%)
大阪市	1,268人 (23.48%)
広島市	165人 (3.05%)
福岡市	303人 (5.61%)

## 平成19年新司法試験の受験予定者

1 受験予定者	5,280人(出願者5,401人)
性別構成	
男性	3,699人(70.06%)
女性	1,581人(29.94%)

### 2 選択科目別受験予定者

倒産法	1,184人(22.42%)
租税法	275人(5.21%)
経済法	500人(9.47%)
知的財産法	875人(16.57%)
労働法	1,656人(31.37%)
環境法	300人(5.68%)
国際関係法(公法系)	110人(2.08%)
国際関係法(私法系)	380人(7.20%)

### 3 試験地別受験予定者

札幌市	121人(2.29%)
仙台市	201人(3.81%)
東京都	2,965人(56.15%)
名古屋市	321人(6.08%)
大阪市	1,237人(23.43%)
広島市	151人(2.86%)
福岡市	284人(5.38%)

## 平成19年新司法試験の受験者

1 受験者数等		4,607人(うち途中欠席10人)
(1) 性別構成	男性	3,261人(70.78%)
	女性	1,346人(29.22%)
(2) 受験回数		
	1回目	3,388人(73.54%)
	2回目	1,096人(23.79%)
	3回目	123人(2.67%)
(3) 既修・未修別		
	既修者・法学部卒	2,364人(51.31%)
	既修者・非法学部卒	278人(6.03%)
	未修者・法学部卒	1,071人(23.25%)
	未修者・非法学部卒	894人(19.41%)
	(注) 受験願書に基づく情報	

## 2 選択科目別

倒産法	1,048人(22.75%)
租税法	236人(5.12%)
経済法	434人(9.42%)
知的財産法	766人(16.63%)
労働法	1,457人(31.62%)
環境法	252人(5.47%)
国際関係法(公法系)	92人(2.00%)
国際関係法(私法系)	322人(6.99%)

## 3 試験地別

札幌市	110人(2.39%)
仙台市	186人(4.04%)
東京都	2,605人(56.54%)
名古屋市	282人(6.12%)
大阪市	1,074人(23.31%)
広島市	121人(2.63%)
福岡市	229人(4.97%)

## 平成19年新司法試験短答式試験の合格に必要な成績を得た者

1	短答式試験の合格に必要な成績を得た者等	3,479人
(1)	性別構成	
	男性	2,599人(74.71%)
	女性	880人(25.29%)
(2)	受験回数	
	1回目	2,383人(68.50%)
	2回目	980人(28.17%)
	3回目	116人(3.33%)
(3)	既修・未修別	
	既修者・法学部卒	2,002人(57.55%)
	既修者・非法学部卒	239人(6.87%)
	未修者・法学部卒	660人(18.97%)
	未修者・非法学部卒	578人(16.61%)

(注) 受験願書に基づく情報

### 2 選択科目別

倒産法	850人(24.43%)
租税法	167人(4.80%)
経済法	332人(9.54%)
知的財産法	562人(16.16%)
労働法	1,116人(32.08%)
環境法	173人(4.97%)
国際関係法(公法系)	65人(1.87%)
国際関係法(私法系)	214人(6.15%)

### 3 試験地別

札幌市	90人(2.59%)
仙台市	147人(4.22%)
東京都	1,982人(56.97%)
名古屋市	215人(6.18%)
大阪市	815人(23.43%)
広島市	88人(2.53%)
福岡市	142人(4.08%)

# 平成19年新司法試験の結果

平成19年9月13日  
法務省大臣官房人事課

## 1 合格者数等

(1) 合格者数 1,851人

(参考)

- ・ 出願者数 5,401人
- ・ 受験予定者（出願者中、法科大学院を修了した者）の数 5,280人
- ・ 受験者数 4,607人（うち途中欠席10人）
- ・ 短答式試験の合格に必要な成績を得た者の数 3,479人

(2) 合格判定

論文式試験の各科目において、素点の25%点（公法系科目・刑事系科目は50点、民事系科目は75点、選択科目は25点）以上の成績を得た者のうち、短答式試験の得点と論文式試験の得点による総合評価の総合点925点以上の1,851人を合格者とする（平成19年9月12日司法試験委員会決定）

(3) 合格者の選択科目別人員・割合

倒産法	456人 (24.6%)
租税法	100人 (5.4%)
経済法	175人 (9.5%)
知的財産法	298人 (16.1%)
労働法	591人 (31.9%)
環境法	97人 (5.3%)
国際関係法（公法系）	30人 (1.6%)
国際関係法（私法系）	104人 (5.6%)

(4) 総合評価対象者 3,408人

※ 短答式試験の合格に必要な成績を得た3,479人のうち、71人は、最低ライン点に達しない科目があるため、総合評価の対象外

(5) 総合点

- ・ 最高点 1398.83点
- ・ 最低点 586.32点
- ・ 平均点 941.69点

(6) 合格者の年齢別構成

- ・ 平均年齢 29.20歳
- ・ 最高年齢 56歳
- ・ 最低年齢 24歳

(7) 合格者の性別構成

- ・ 男性 1334人 (72.07%)
- ・ 女性 517人 (27.93%)

(8) 合格者の司法試験受験回数

- ・ 1回目 1250人
- ・ 2回目 525人
- ・ 3回目 76人

※ 対象となる司法試験は、平成16年度旧司法試験、平成17年度旧司法試験、平成18年度旧司法試験、平成18年新司法試験及び平成19年新司法試験である。

- (9) 合格者の既修・未修別
- ・ 既修者法学部 1096人
  - ・ 既修者非法学部 120人
  - ・ 未修者法学部 343人
  - ・ 未修者非法学部 292人
- ※ 受験願書に基づく情報。

## 2 論文式試験結果

- (1) 論文式試験採点対象者 3,479人  
 ※ 短答式試験の各科目において、満点の40%点（公法系科目40点，民事系科目60点，刑事系科目40点）以上の成績を得た者のうち，各科目の合計得点が210点以上の成績を得たもの（平成19年6月6日司法試験委員会決定）
- (2) 得点
- ・ 最高点 636.89点
  - ・ 最低点 176.96点
  - ・ 平均点 393.91点
- (3) 科目別得点等

試験科目		最高点	最低点	最低ライン 点未満人員
公法系科目		164.23	27.99	38
民事系科目		271.77	41.78	6
刑事系科目		162.63	22.79	5
選択科目	倒産法	83.65	15.32	17
	租税法	71.74	23.72	
	経済法	76.67	13.47	1
	知的財産法	84.27	16.46	2
	労働法	84.31	17.40	1
	環境法	79.28	19.38	2
	国際関係法(公法系)	67.81	28.66	
	国際関係法(私法系)	70.85	19.02	3
最低ライン点未満実人員				71

(注) 最低点については，無効答案，白紙答案を除く。

## 3 参考資料

- ・ 平成19年新司法試験総合点別人員調（総合評価）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（合計得点）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（公法系科目）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（民事系科目）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（刑事系科目）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（選択科目）